

優れた「脊椎脊髄」専門医を養成

基幹研修施設に認定

製鉄記念室蘭病院（室

蘭市知利別町、前田征洋
病院長）が、「脊椎脊髄
外科専門医基幹研修施
設」として認定された。
同病院は「優れた専門医
の養成に努めたい」とし

製鉄記念室蘭病院が導
入した最新鋭の術中モ
バイルCT＝提供写真

ている。

同外科専門医基幹研修
施設は、治療実績や教育
体制などを踏まえて、日
本脊椎脊髄病学会が認定
している。同病院による
と、道内では大学病院を
含めて10施設が認定さ
れ、胆振、日高管内では
唯一となる。

同病院は2013年

（平成25年）6月、最新

鋭の術中モバイルCT
（可動式コンピューター
断層撮影装置）と最新式
のコンピューターナビゲ
ーションを北海道・東北
地区で初めて導入した。
「病変が3次元の、か
つ高精度に描出できるた
め、頸椎から骨盤までの
外科的治療に極めて有

用」（小谷善久副院長・
脊椎脊髄センター長）な
特長を生かし、正常な筋
肉のダメージを最小限に
抑えるため、小さな傷で
進める低侵襲脊椎手術
（MIST）による脊椎
固定術にも積極的に取り
組んでいる。

小谷副院長（日本脊椎
脊髄病学会指導医）は「こ
れからも引き続き、安全
で高度な医療の提供に全
力を挙げ、優れた脊椎脊
髄外科専門医の養成に力
を尽くしたい」と話して
いる（松岡秀宜）